



骨形成へ新作用

特性

- 1 骨形成促進作用（ラット, *in vitro*）と、骨吸収抑制作用（*in vitro*）の両面から骨組織の代謝不均衡を改善します。
- 2 骨基質タンパク質オステオカルシンのGla化（ γ -カルボキシグルタミン酸残基の生成）に必須です。
オステオカルシン=BGP (Bone Gla Protein)
- 3 骨代謝回転を高め、骨量改善効果を示します（ラット, *in vitro*）。
- 4 骨粗鬆症患者を対象とした臨床試験において、骨量及び疼痛の改善に効果があることが確認されています。
- 5 承認時における副作用発現例数は708例中35例（4.94%）でした。主な副作用は、腹痛8件（1.13%）、発疹・発赤7件（0.99%）、胃部不快感4件（0.56%）等です（1992年3月エーザイ集計）。
- 6 服用しやすい小型ソフトカプセルです。

本剤はビタミンK₂製剤であり、抗凝血薬療法で用いられるワルファリンカリウム（ワーファリン）の作用を減弱します。これに基づき、使用上の注意に「禁忌」と「相互作用」が設定されています。

【効能・効果】

骨粗鬆症における骨量・疼痛の改善

【用法・用量】

通常、成人にはメナテトレノンとして1日45mgを3回に分けて食後に経口投与する。

【使用上の注意】

1. 一般的注意

(1) 本剤の適用にあたっては、厚生省「老人性骨粗鬆症の予防及び治療法に関する総合的研究班」の診断基準（骨量減少の有無、骨折の有無、腰痛の有無などの総合による）等を参考に、骨粗鬆症との診断が確立し、骨量減少・疼痛がみられる患者を対象とすること。

(2) 発疹、発赤、痒痒等があらわれた場合には投与を中止すること。

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）
ワルファリンカリウム投与中の患者（「相互作用」の項参照）

3. 相互作用

併用しないこと

ワルファリンカリウム（ワルファリンカリウムの作用を減弱する。）

4. 副作用

（まれに：0.1%未満、ときに：0.1～5%未満、副詞なし：5%以上又は頻度不明）

(1) 消化器

ときに胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢、腹痛、消化不良等があらわれることがある。

(2) 過敏症

ときに発疹、発赤、痒痒等があらわれることがある。

(3) 精神神経系

ときに頭痛等があらわれることがある。

(4) 肝臓

ときにGOT、GPT、 γ -GTPの上昇等があらわれることがある。

(5) 腎臓

ときにBUNの上昇等があらわれることがある。

5. 高齢者への投与

高齢者に長期にわたって投与されることが多い薬剤なので、投与中は患者の状態を十分に観察すること。

6. 小児への投与

小児に対する安全性は確立していない（使用経験がない）。

7. 妊婦・授乳婦への投与

妊婦・授乳婦への投与に関する安全性は確立していない（使用経験がない）。

8. 適用上の注意

投与時

本剤は空腹時投与で吸収が低下するので、必ず食後に服用させること。なお、本剤の吸収は食事の脂肪含有量に応じて増大する。（「体内薬物動態」の項については添付文書を参照）

骨粗鬆症治療用ビタミンK₂剤 （薬価基準収載）
グラケー[®] カプセル 15mg
Glakay[®] <メナテトレノン製剤>

h/hc
ヒューマン・ヘルスケア企業



エーザイ株式会社
〒112-88 東京都文京区小7-11川4-6-10

資料請求先：
エーザイ株式会社医薬事業部

●ご使用に際しては添付文書
をご参照ください。